受付	個　人　質　問　　第　　号 令和　年　月　日　　時　　分

一般質問＜個人＞発言通告書

令和７年５月２６日

長久手市議会議長　殿

長久手市議会議員　山田けんたろう

会議規則第５９条第２項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	**長久手市の将来のまちづくりについて** ⑴　本市のまちづくりの根幹である第６次長久手市総合計画、第３次長久手市土地利用計画、長久手市都市計画マスタープランは、計画の終了年度を２０２８年度とし、次期計画は２０２９年度の同時期にスタートすることになるが、それぞれの改定スケジュールと基本的な考え方及び将来の展望はどのようか。 ⑵　本市でこれまで整備されてきた土地改良事業地区と土地区画整理事業地区の将来をどのように考えているか。 ⑶　県道瀬戸大府東海線開通後の市内沿線のまちづくりについて市の考えを伺う。 ⑷　都市計画税の用途と今後の方針について伺う。 ⑸　杁ケ池公園や杁ケ池体育館、そして杁ケ池自体の将来をどのように考えているか伺う。	
2	**長久手市の安心安全なまちづくりについて** ⑴　２０２５年３月、政府は南海トラフ巨大地震の被害想定を１３年ぶりに見直し公表した。続いて愛知県も、専門家と検討委員会を組織し、県独自の被害予測の見直しを進めているが、本市の状況はどのようか。 ⑵　市内の道路交差点における交通事故の発生状況と市の対応、対策はどのようか。	

	⑶　市長公約「高齢者に優しいまち」の中の一つ「運転免許返納者へシニアカーをレンタル」の進捗と展望はどのようか。 ⑷　市公共施設の駐車場の充足率について、市の見解を伺う。 ⑸　政府は、主に地域住民の日常生活に利用されるような、中央線などがない道路「生活道路」の法定速度を時速３０kmに制限する改正道路交通法施行令を閣議決定し、2026年９月１日に施行する予定であるが、本市への影響と対応はどのようか。 ⑹　名古屋市は、「交通事故ゼロの未来へ！新技術で実現する道路維持管理」としてＡＩ技術を活用し、区画線をはじめ事故防止のための路面標示を計画的かつ効率的に修繕するための評価手法の実証実験に取り組んでいるが、本市の考えを伺う。	
３	**大学連携について** 市では、第５次総合計画において「大学をまちづくりに生かす」ことを基本施策に挙げており、市内４大学をはじめ近隣の大学と連携し、大学と行政が協働するまちづくりを推進しているが、現在の取り組み状況や課題、今後の展開、展望はどのようか。	